

議 会

なかたね町

だより

第143号 平成29年5月10日発行

平成29年第1回定例会

平成29年度当初予算 ②～④

平成28年度補正予算 ⑤

一般質問（6人） ⑥～⑪

所管事務調査 ⑫

条例・その他・一部事務組合 ⑬

議会の動き・編集後記 ⑭



早春を駆ける

感謝のラストラン
第30回たねがしまロケットマラソン（ハーフマラソンスタート）

平成29年3月定例会

3月定例会は、3月7日に招集され、3月24日までの18日間の会期で開かれました。

初日は、総務文教常任委員長の所管事務調査報告、条例の改正及び平成28年度一般会計補正予算(第9号)など15議案を原案どおり可決しました。また、町長の施政方針、平成29年度当初予算の説明を受け、各常任委員会へ付託されました。

2日目(21日)は、6人(日高和典・池山朝生・永濱一則・戸田和代・山元みさ子・徳永紹道)の議員から一般質問がありました。

最終日(24日)は、各常任委員会へ付託された当初予算7件を原案どおり可決しました。

平成29年度一般会計当初予算

本 年度の一般会計当初予算は、66億400万円
円で、前年度予算と比較して、1.1%(7500万円)の減額です。

主 なものについては、人件費及び公債費等の
義務的経費が構成比41.6%、普通建設事業
費等の投資的経費は、光ファイバー導入事
業(2億2000万円)、道路改良舗装事業(1億
3000万円)などで構成比16.6%です。

公 債費(借金返済)については、7億8200
万円で、本年度末の借入残高見込は、78億4
600万円です。

基 金(貯金)残高については、財政調整基金・
減債基金等の取り崩し約8億円を予定し、
これを差し引いた残高見込額は、5億4300
万円です。

そ の他の特別会計及び事業会計の予算状況
は、別表のとおりです。

平成29年度一般会計当初予算 66億400万円

別表

会計名	予算額	対前年度比較 (6月補正後)	伸び率	
一般会計	66億400万円	▲7,500万円	▲1.1	
特別会計	国民健康保険事業勘定	15億4,392万円	▲2,241万円	▲1.4
	と畜場	349万円	▲21万円	▲5.8
	簡易水道事業	3億914万円	▲1億2,022万円	▲36.5
	介護保険事業勘定	10億7,822万円	1,950万円	1.8
	後期高齢者医療	1億4,034万円	452万円	3.3
水道事業会計(収益的収支)	1億7,295万円	▲727万円	▲4.0	

施政方針



施政方針とは、町長の町政運営に対する基本姿勢や今年度の重要施策、予算編成の基本方針を説明したものです。

町民の皆様のお勤めな気質を最大限発揮いただけるような施策、安定的でなおかつ安全で安心して生活できる環境づくりこそが、町の発展につながるものと考え、特に、農業を基幹産業とする本町において、農業従事者の高齢化・離農者の増に加え、少子高齢化や農業所得の不振に伴う担い手不足を克服していくため、国の事業を活用しながら単収の向上に努める。また、農林水産業と商工業の連携を模索しつつ、特産品の開発や6次産業化での農林水産物の付加価値を高めるなど、中・長期的な計画立案を進めると説明しました。

予算委員会での主な質疑

総務文教常任委員会

社会教育課

問 学童保育の状況は。

答 基本は3年生まで預かっている。指導員の謝金は1時間800円で、3時間1週間で2〜3名体制で実施している。

問 種子島こりーなの補助

答 年2回戸別訪問を実施している。

問 島外徴収の状況は。

税務課

答 空調施設、高圧電源設備、発電機補修が主なもの。利用者は増えてきており、今後も利用率向上に努める。

修関係や利用状況は。

水道課

問 石綿管の状況は。

答 配水管で約8000m、導水管が約2000m残っている。年次計画で更新していく。

給食センター

問 給食費補助の積算は。

答 小学校1食あたり20

教育総務課

円で約208円、中学校1食あたり40円で約243円となっている。

問 たねがしま留学里親制度の現状は。

答 対象者は5名。実行委員会から里親に3万円、実親から3万円支給されている。里親のなり手がいない状況。南種子町との連携はやっていないが、今後については検討していく。

問 野間小プール改修工事の内容は。

答 ろ過器の交換、内壁の塗装、プール内のラインの改修を行う。

企画課

問 空き家情報管理システム保守業務委託の内容は。

答 空き家の位置情報、危険住宅等の位置情報について委託する。

問 バス路線での小型バス運行は。

答 運行業者が新たに導入するとコスト面で問題が生じる。

総務課

問 人事評価制度について。

答 順調に運用されている。

産業厚生常任委員会

中央保育所

問 保育所の看護師配置は。

答 0歳児が9名以上となった場合に配置することになっているため、准看護師を配置している。

農林水産課

問 ジビエ開発促進事業については。

答 地元での消費が見込めないこと、肉の品質試験も常時使用する加工施設整備が必要となること等、採算ベースに乗せるのは難しいため、今後は、隣接市町と情報共有しながら検討していく。

※ジビエ：狩猟で捕獲された野生鳥獣の食肉。



▲総務文教所管予算委員会

問 全茎式プランターは何基を導入予定しているか。

答 プランターを1基、機能向上を1基計画している。

問 6次産業化等推進協議会の内容と会員は。

答 6次産業化と農商工連携の事業活動を調査研究するために立ち上げている。会員は、町内の加工業者、農協婦人部、熊毛支庁等が入っている。

農地整備課

問 地籍調査の完了時期は。

答 最終年度は平成52年度となっている。

問 農道のメンテナンスフリーに対する考え方は。

は。随時実施しているのか。

答 高いのり面は考えて行く必要があるが、簡易舗装の道路があることから、そちらが優先となっている。

福祉環境課

問 福祉センターの改修は。

答 29年度に設計を行い、30年度に改修を予定している。

問 介護保険料滞納者に対するペナルティは。

答 介護サービスを受けたいときに、期間計算したペナルティがあり、サービスを受けられない期間がある。

問 農地利用最適化推進委員の人数は。

答 定数は8名で、各校区(野間上・下)に1名としている。

農業委員会

問 30年度から国保の保険料が上がるのが予想されることについて。

建設課

問 町内の33橋のうち20橋の橋梁点検について。

答 法律で定められた点検であり、5年に1回が義務づけられている。30年度までに実施することになっている。

町民保健課

問 30年度から国保の保

険者が県になるが、保険料が上がるのが予想されることについて。

答 試算の段階であり、保険料の確定はできていない。国の公費拡充が大前提であることから、これにより本町の保険料が決定していく。

問 ジェネリック医薬品について。

答 厚生労働省の目標値60%を超え、73%超となっている。本町でも70%は普及している。



▲産業厚生所管予算委員会

平成29年度
当初予算の主なもの



公園長寿命化対策支援事業 (スライダープール改修) 6,814万円



道路改良舗装事業(原之里線ほか) 13,014万円



中央保育所増築等工事 1,305万円



消防タンク自動車購入 3,780万円



河川改修工事(阿高磯川) 2,400万円



公営住宅長寿命化対策事業 (伏之前団地ほか) 9,526万円

平成28年度補正予算

一般会計補正予算 (第9号)

今回の補正は、各事業の確定(見込み)及び補助金等の交付決定による計上。一部、国の補正・前倒しによる経費の増額。また、前回の補正予算以降必要となった経費の追加、事業量の変更・決定等による予算の調整が主なものです。

歳入

「町税」は、法人税割の現年度分の減額。「国库支出金」は、障害者福祉費の実績による減額と社会保障・税番号制度システム整備費が補助対象外のため減額。「県

歳出

「総務費」は、ふるさと応援基金への積立と地域おこし協力隊の採用がなかったため、その経費の減額と地域定住支援事業の実績見込みによる減額。「民生費」は、実績による扶助費の減額と国保・介護特別会計繰出金の減額。「衛生費」は、公立種子島病院組合負担金及び簡易水道特別会計繰出金の減額と実績見込みによる各種検診委託料の減額。海岸漂着物地域対策推進事業費は、国補正による増額。「農林水産業費」は、農業機械・種子島農業公社精脱葉施設整備費の執行による減額と舗装・外構工事への一部組み替えによる計上。青年就農給付金事業及び有害鳥獣捕獲隊の捕獲頭数及び出動回数の実績見込みによる減額。県営事業の事業費確定による基盤整備事業の減額と国補正による農道整備事業の増額。「商工費」は、商工業者事業資金利子補給と緊急経済対策商工業者事業資金保証料の実績による減額。「教育費」は、増田小・野間小教職員住宅と合併浄化槽設置事業の工事費執行による減額。「災害復旧費」は、事業費確定による減額です。各会計ごとの補正額及び補正後の額は別表のとおりです。

平成28年度会計別予算額

【別表】

会計名 (補正号数)	補正額	補正後の予算額	
一般会計 (第9号)	▲2億2,312万円	68億7,061万円	
特別会計	国民健康保険会計 (第4号)	47万円	15億9,337万円
	と畜場会計 (第2号)	▲14万円	423万円
	簡易水道事業会計 (第4号)	▲479万円	2億6,394万円
	介護保険事業会計 (第4号)	▲1,781万円	10億5,668万円
	後期高齢者医療会計 (第4号)	▲80万円	1億4,291万円
水道事業会計(収益的支出) (第4号)	▲697万円	1億7,243万円	



包括連携協定

本町での、課題解決に関する包括連携協定の取り組みは

町長／包括連携協定を結んでいる所はない



日高 和典 議員

日高 地域の課題解決や雇用創出・イノベーション人材育成に関する包括連携協定の取り組み成果と計画は。

田淵川 寿広 町長

また、各団体と連携の強化をはかり、本町の課題解決に向け、地域の活性化を目指し、事業検討を実施したいと考えています。

町長 地域の課題解決や雇用創出・イノベーション人材育成に関する包括連携協定を結んでいる所はありません。災害時の相互応援協定をさつま町と、電力復旧等に関する協定を九州電力と結んでいます。成果としてはなかなか見受けられませんが、今後は、個別課題の必要に応じて、包括連携協定にとらわれることなく、企業・大学等の地域課題に対してのノウハウ・提案をとり入れます。

10月の車座対話後、交通負担軽減内容の確認はされたか

日高 離島の生徒が大会に出場する際の、交通費の負担軽減に県知事は前向きな姿勢を12月県議会で示しているが、内容は確認されたか。

町長 事業名は、離島生徒大会参加費助成事業で、対象生徒は、離島の中学校の運動部・文化部の大会に参加する生徒です。助成内容は、生徒が利用する最も安い離島別の船舶料金の2割を助成します。

日高 本町のスポーツ少年団活動にも補助が必要であるので、負担軽減策を要望いたします。



▲部活動状況

となる学校を目指し、積極的な取り組みを行っています。支援策についても、機会をとらえながら高校側と協議をしています。子育て支援策として、また、学業面での安心して暮らせるまちづくりとして、どのような支援策が必要か、さらに調査研究を進めて参ります。

町長 マラソンに限らずトライアスロンなど、魅力ある場所を使った運営等も含め検討できればと考えています。

イベント開催は、基本的に行政主導というより、民間主導で企画運営されることに意義があります。魅力あるものと考えます。仮に行政指導でイベント・企画運営を始めたにしても、2、3年経過後には民間団体等へ移行する考え方も必要性があると思います。商工会・観光協会等の団体が企画運営していくことが良いかと考えます。ぜひとも、島中が大きく盛り上がるようなご提案も、今後聞かせていただければと考えています。

種子島中央高校の、入学者定員確保への取り組み状況は
教育長／積極的な取り組みを行っている

日高 昨年9月定例会で、入学者定員確保への取り組みとして、どのような支援が必要か十分な調査や研究が必要であると答弁されたが、現在の取り組み状況は。

教育長 志望者数・入学者の増加に向け、地域に信頼され地域の誇り

仮称「種子島ロマンロケットマラソン」開催を提案する
町長／基本的に行政主導より民間主導で立ち上げイベントはするべき

日高 大きなイベントがなくならないと、種子島には大きな損失です。今こそピンチはチャンスです。種子島出身の企業に支援・応援をお願いして、仮称「種子島ロマンロケットマラソン」開催を提案します。



有人国境離島法

交付金をいかに有効に使うか、役場の能力が問われる。「ふんどしを締めてかかれ」

町長／有効活用できる体制づくりをしていく。

池山 朝生 議員

池山 戦略産品4品目「米・レザリーフフアン・いも類(バレイショ)・青果用サツマイモ」・原木」の支援額は。農林水産課長 27年度実績で、国が237万1000円、町が237万3000円です。

町長 対象となり得る産物はすべて考えています。具体的品目は、花き、園芸作物、クルマエビを含む魚介類、黒豚です。

運賃低減とともに期待されるのが2億6千万円盛り込まれた農水産物の輸送費用補助である。これまでの戦略産品4品目以外に23品目を補助対象にできるが、推奨する農水産物は。

池山 4月に施行される「有人国境離島法」は、①航路・航空運賃の低廉化②輸送コスト支援③滞在型観光の促進④雇用機会の拡充など、離島地域社会の維持を支援するための交付金制度である。中種子町が生き残るためには、この制度を最大限生かすことである。

推奨品目の安定生産への確立を図れ
町長／農家所得の向上につながる環境づくりを努める

池山 この金額が農家に還元されている。新たな推奨品目加われば大きな支援となる。本町の農業の衰退をくい止めさせる制度となり得る。推奨品目となる農水産物の安定生産の確立をどのように図って農家所得の向上につなげていくのか。

町長 ブロッコリー・スナップエンドウなどの生産向上に向けての肥培管理・土づくりなど多くの農産物の安定出荷への環境づくりに努めます。

池山 大事なことは農家の声、現場の声をよく聞くことである。スナップエンドウは、確かに高収益が見込まれる作物であるが、初期資材投資が反あたり約30万円かかる。いくらかの支援はできないかとの声も聞く。農業の現状把握をしっかりとして将来像を描いてもらいたい。

機構改革を行い新たに「地域創生課」の創設を
町長／業務内容の検証を行い総合的見直しを進める

池山 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」・「ふるさと納税」・「地域おこし協力隊」など、国は地域が生き残るための政策を打っているが、所管の対応は十分できていないか改めて見直しをやらねばならない。有効活用はできないのではないか。「仕事量から見て「首ぎつちい」にきている。機構改革を急げ。

町長 課の創設については、今後の事業展開や現在の企画課の業務内容・人員など総合的に検討していきます。役場組織の機構改革については、行政需要が変化していく中、町民の皆様が利用しやすく、わかりやすい役場にするため、各部署の業務内容を検証しながら総合的に見直しを進めていきたいと考えています。

熊野干拓跡地太陽光発電について

池山 熊野干拓跡地の太陽光発電の、これまでの寄付額、借地収入、固定資産収入額は。

総務課長 26年4月からの発電量実績に応じた金額が寄付されています。平成28年12月27日までの寄付総額は587万112円です。借地料は、年額55万2000円で、25年度は月割額で23万円、26年から28年度までの総額は188万6000円です。固定資産税収入については地方税法に抵触するということなので開示できません。

池山 総発電量のうち、1キロワットあたり2円をいただいている。固定資産収入額は開示できないということですか。



▲熊野干拓跡地太陽光発電所

あるが、建設費用が3億6000万円であったので、償却資産を計算すると相当の金額になる。ありがたい金額である。

基金創設の考えはないか
町長／検討する

池山 この金額は、現在寄付金として一般財源処理されている。企業誘致当初の目的趣旨にかんがみ、寄付金としての扱いでなく「基金」として明確に取り扱うべきでは。

町長 28年度までは一般財源として扱っていましたが、29年度は、総務費の地域振興事業へ特定財源として充当しています。

池山 私は企業誘致をお願いする際、南国産物の永山社長に対して、将来の農業振興対策のために、1キロワット2円を基金としてお願いし承諾いただいた経緯がある。今後も、地域振興のための企業誘致は進めていくはずである。相手先に対して、中種子町としての礼儀はしっかりと果たせ。



永瀆 一則 議員

空き缶対策

空き缶等散乱防止条例の、その後の進捗状況は

町長／1市2町で協議会を開催し、予算も計上している

永瀆 昨年9月議会において、条例があるにもかかわらず全くと機能していないが、その後の進捗状況は。

町長 昨年10月6日に1市2町で連絡協議会を開催し、28年度、29年度は、中種子町が事務局となることで了承をいただきました。本年度予算として、各市町10万円ずつ計上させていただいたところです。

永瀆 自販機の設置者には、空き缶入れを備えることを義務づけているが実行されていない。この状況をどう思うか。

町長 確かに回収容器の設置がなされていないのが現状だと思っています。販売業者への指導が徹底できていないと言ふ事については、行政の努力も足りなかつたと反省しています。



▲ポイ捨て防止啓発用のぼり旗

安価な堆肥の供給計画
は
町長／耕畜連携で堆肥センターも今後検討していきます

永瀆 町長は施政方針の中で、堆肥の安価で安定した供給に向け事業推進に取り組むと述べているが、どういった計画を持っているか。

町長 農産部門、畜産部門の共存共栄を目的としたシステムを構築するための協議を行っているところです。種子島耕畜連携推進会議で、混合飼料、つまりキビの梢頭部を有効利用して、乾燥草や飼料用キビを配合し、良質飼料をつくり、畜産農家に提供しま

す。そこから排出される余剰糞を回収して、副産物と混ぜ良質な堆肥をつくる循環型農業を目指すために、堆肥センターについても今後検討を加えていくことにしています。

永瀆 南種子町を例にあげると、赤字経営でありながらも中種子の半分の値で堆肥を供給している。農家のために町自体取り組み姿勢は見習うべきではないか。

町長 安価な堆肥を農家に供給できる、しているということは見習う部分でもあります。これから先、良質で安価な堆肥・飼料を供給できるような方策を検討していきます。

予想される大規模災害について
町長／地域や災害形態に合った防災訓練が必要である

永瀆 南海トラフ地震や首都直下地震など大規模災害が想定されて

いる。この事に対してどういう認識を持っていますか。

町長 この首都直下地震は、関東南部の東京近郊の首都圏で発生する首都直下型の地震であつて、建物、人的被害など甚大な被害が想定されます。政治・経済の中心である首都圏での発生で、首都機能が崩壊するなど、首都のみならず、日本中に大きな混乱を招くのではないかと認識をしています。

永瀆 種子島は、平坦度であるがゆえに危険度も高い。最悪の場合を想定して、地域ごとに避難マニュアルを見直す必要があるのでは。

町長 地域ごとの避難マニュアルはまだ策定はしていないものの、海岸に接する地域と、中央に位置する平坦な地位、場所、山間にある地域では、想定される災害や避難の形態も違つてくると思います。それぞれの地域や災害形態に

合った防災訓練が必要であるというの十分考えています。防火・防災訓練等の中で、災害発生時の初動体制、情報伝達体制、避難行動、避難経路や避難誘導の確認、要援護者の避難行動などについて、個人、地域、消防団等がそれぞれの役割を確認しながら、その地域に合った避難体制を構築していくべきと考えます。

永瀆 避難弱者の把握、また、確保の手順も避難訓練の中にあるのか。

町長 可能な限り、要援護者、またその数、それから家の場所は、分団長が把握をしている分団がほとんどです。

永瀆 国も、防災・減災対策に地方単独事業を対象とする地方債、緊急防災減災事業債を本年度5千億円計上しているようです。できるものなら多に活用し、防災・減災対策に努めるべきである。



子育て支援

低所得世帯への入学準備金の 前倒しする考えは

教育長／入学式前に支給できるよう検討する

戸田 和代 議員

本町の考えは、「適切な支給時期への配慮を各市町村に要請」と答弁しているが、

戸田 小学校、中学校共に入学となると大きな出費が重なる。県議会一般質問の中でも、支給時期の前倒しの要望が強く、県の古川教育長は、「適切な支給時期への配慮を各市町村に要請」と答弁しているが、

教育長 6月以降になつており、平成28年度は、7月の初旬に支給しています。

戸田 子育て支援には、これまでいろんな支援をしていただき、新年度より、新たに355万円の財源を充て、高校卒業相当年齢まで医療費の無償化ということでありがたく思っている。その中で、低所得世帯の小中学校入学準備金は6月以降の支給になっているのか。

教育長 保護者への周知説明会の実施、学校長の意見書を添付した援助費申請書の提出、教育委員会の認定事務作業等、就学援助費支給事務処理が必要で。保護者への周知を図るなどの工夫により、入学式前に支給できるよう検討したいと考えています。

町長 行ってみたい町とは、その土地の食べ物があり、ぜひたくではなくても小ぎれいにした宿、散策や買い物、レ

戸田 施政方針の中で、行ってみたい町、住んでみたい町と思える町づくりとは、どのような町づくりを捉えているのか。

「花づくり」を支援する窓口の設置は 町長／農林水産課が対応可能と考える

戸田 高齡化率36%を超えている本町、少子高齡化・人口減少は喫緊の課題である。その中で、交流人口は大きな目玉となるが、おもてなしの心、雰囲気づくりが本町は欠けているのではないか。

教育長 保護者への周知説明会の実施、学校長の意見書を添付した援助費申請書の提出、教育委員会の認定事務作業等、就学援助費支給事務処理が必要で。保護者への周知を図るなどの工夫により、入学式前に支給できるよう検討したいと考えています。

町長 スポーツの町づくりとして、太陽の里・運動公園を中心にスポーツ合宿誘致に力を入れていきます。選手達が集中して、気持ちよくトレーニングができるように支援を行っていきます。その他、観光協会主催による商業、旅館業初め自営業者を中心に、「おもてなし」の研修会などを実施しています。

戸田 高齡化率36%を超えている本町、少子高齡化・人口減少は喫緊の課題である。その中で、交流人口は大きな目玉となるが、おもてなしの心、雰囲気づくりが本町は欠けているのではないか。

町長 スポーツの町づくりとして、太陽の里・運動公園を中心にスポーツ合宿誘致に力を入れていきます。選手達が集中して、気持ちよくトレーニングができるように支援を行っていきます。その他、観光協会主催による商業、旅館業初め自営業者を中心に、「おもてなし」の研修会などを実施しています。

戸田 「花好き、この指止まれ」で1歩を踏み出します。

町長 スポーツの町づくりとして、太陽の里・運動公園を中心にスポーツ合宿誘致に力を入れていきます。選手達が集中して、気持ちよくトレーニングができるように支援を行っていきます。その他、観光協会主催による商業、旅館業初め自営業者を中心に、「おもてなし」の研修会などを実施しています。

町長 町民の意識を変

戸田 行政に求めるばかりでなく、私たちでできることはないかというグループができつつある。女性で何ができるか考えたら、「花づくり」ということになった。行政の中に窓口をつくってほしい。

町長 町民の意識を変

戸田 「花好き、この指止まれ」で1歩を踏み出します。

町長 町民の意識を変



▲プランターに植えられた花



山元 みさ子 議員

町営駐車場

コミュニティ広場としての利用はできないか

町長／有効に活用し、活性化を図っていただきたい

山元 商店街公共駐車場の有効活用を図るため、コミュニティ広場として利用はできないか。

毎日朝から何時間も座っています。地元住民の集いの場、休憩場所として高齢者サロンをつくれませんか。

町長 旭町通り商店街

については、人口減少や大型店の出店による購買者の減少、後継者不在による廃業などにより、にぎわいがなくなっているところが現状と感

町長 高齢者の皆さんが集まる原因も探り検討していく必要性はあると考えますが、つくるということは現時点では考えていません。

じています。そういう中で、駐車スペースを活用した各種イベントでの活用は、活気ある商店街を取り戻す手段と思

山元 平成27年12月にも、休憩したり、授乳をする場所をつくれな

います。例えば南界校区・坂井公園駐車場で、地元農林水産物等の販売活動をを行い、校区活性化の一環として取り組んでいる事例もあります。各種催しを開催するなど、商工会や商店街の皆様

町長 高齢者の皆さんが集える場所が必要ですが、現時点で町営駐車場につくる考えはありません。全体的な流れの中で、そういう場所が福祉の里などに必要なかを先に考えていく必要性があると考えます。また、地域の活性化とい

山元 高齢者の方が、Aコープの玄関入口に、

また、地域の活性化とい

う観点から、通りの皆さま方も、自ら元気を出して頑張ろうという気が出てきているように見受けられます。そういったところを含めながら活性化が図れば良いと思います。

山元 商店街の活性化のために提案している。商店街につくることで、

高齢者も若い人たちも寄るのであるという気持ちがある。自助努力も必要ではあるが、活性化のため取り組んでいただきたい。



▲商店街公共駐車場

スライダプール改修についての費用対効果は町長／子どもたちの夢を膨らませる必要な予算

山元 平成29年度、スライダプール改修費として6546万円計

上されました。昨年プールの利用日数は、わずか40日間。果たして、費用対効果という面からどう思うか。

町長 この40日間に、子どもたちが非常に楽しみにして使っている施設です。夏休み期間中の保護者の方の負担を軽減する良い施設があつて良いという話も聞きます。子育て支援も含め、子どもたちの夢を膨らませていくためにも必要な予算と考え

ます。

山元 スポーツ合宿の監督さんたちに聞くと、ストレッチや疲れたときの運動前後にも利用できる温水プールがあ

れば良いという意見を聞く。町長は、町民の健康を一番重視しているとも言っている。合宿など年間通して利用でき、全島からの利用客も見込まれる温水プールを作る考えは。

町長 温水プールは、年間約1億円程度のラ

ニングコストが想定され。財政的にも莫大な予算が必要になりま

山元 農業に従事している高齢の方々は、足・腰が痛く、手術をしたという人が大変多い。温水プールは、高齢者のリハビリにもなるし、若い人たちの予防にもなる。中種子町はすばらしい施設をいくつも持っている。これらの施設を幅広く利用して、健康増進、地域振興、交流人口増に努めるべきである。



特別支援教育 支援員

全ての時間に対応される教育 支援員の体制は

教育長／子どもたちのため、良い方向になる
よう進めていく

徳永 紹道 議員

徳永も研究しながら、子どもたちのため、良い方向に

たいと考えております。今後は、学校からの要望を踏まえ、配置について

常勤1名でやっていきたいと考えております。今後は、学校からの要望を踏まえ、配置について

徳永 就学援助を受けられることができるのは、町内の小学校・中学校に在学する児童生徒の保護者で、生活保護法に規定する要保護者または要保護者に準ずる程度に困窮している保護者で、教育委員会が認め

徳永 昨年の12月議会で、子どもたちが学校に
いる間、全ての時間に対
応される教育支援員の
体制をつくっていただ
きたいという質問をし
ました。教育長は、全
ての時間に対応するには、
現在のやり方と常勤の
やり方の二通りの形で
平成29年度からやれな
いものか研究するとい
う答弁でありましたが、
新年度からはどうなる
のか。

入学準備金を3月に支給することは
教育長／入学式前に支給
給できるよう検討した
い



北之園 千春 教育長

なるようにやっていき
たいと考えております。

できるように、3月に支給
することを決めてい
ただきたいと思うが。

教育長 中学生の場合
には、既に小学校の段階
で書類審査等終わって
いるので、すんなりとい
けると思いますが、小学
校の新入生の場合は、さ
まざまな書類等の審査
が必要になるかと思
います。2月8日前後に、
今年度の要保護者の費
用を支出し、同時期に翌
年度の新入生の費用を
支出することになりま
すので、それは、財政サ
イドと十分に協議して
方向性を定めていく必
要があるかと思ってお
ります。さまざま研究
工夫をすることにより、
入学式前に支給ができ
るように、何とか検討し
てまいりたいと、私自身
は考えております。

自宅通学生の奨学金増
額は
教育長／隣接市町の状
況など情報収集を行う

徳永 定例会の初日
に、奨学資金貸付基本条
例の一部を改正する条
例が改正されました。前
進した部分がありまし
たので、私も賛成しまし
た。その中で、大学及び
専門学校に在学する者
は月額奨学金の貸付
額が、3万円以内が4万
円以内となり、高校生で
も、自宅通学以外の者は
月額1万5000円以
内、2万5000円以
内となりました。しか
し、自宅から通学する高
校生の奨学金の月額だ
けが1万2000円以
内と据え置かれました。
私は、据え置かずに、増
額すべきと思います。ど
うですか。

教育長 自宅通学生の
奨学金が据え置かれた
のは、「まち・ひと・し
ごと創生総合戦略」の本
来の対象が、島外に進学
する生徒となっており
据え置かれたところで
す。しかし、隣接市町の
状況など情報収集を行
い、調査研究を進めてい
きたいと考えておりま
す。

徳永 西之表市も同じ
である。町の条例には、
有用な人材の育成に資
するため、能力があるに
もかわらず、経済的理
由によって就学を困難
とする者に対し、奨学金
を貸し付けるとうたわ
れている。自宅通学生で
も、教育委員会は経済的
に困難と認めて貸し付
けているわけです。教育
委員会で議論して、増額
する方向で取り組んで
いただきたい。

徳永 西之表市も同じ
である。町の条例には、
有用な人材の育成に資
するため、能力があるに
もかわらず、経済的理
由によって就学を困難
とする者に対し、奨学金
を貸し付けるとうたわ
れている。自宅通学生で
も、教育委員会は経済的
に困難と認めて貸し付
けているわけです。教育
委員会で議論して、増額
する方向で取り組んで
いただきたい。

《所管事務調査報告》 総務文教常任委員会

学校教育の実態について

去る2月3日、教育委員会担当職員の出席を求め、学校教育の実態について調査をしました。

増田小学校

児童数53名（5学級）

教育目標は『自ら学び、思いやりの心を持ち、心身共にたくましい子どもを育成する』であり、知の「確かな学力」、徳の「豊かな心」、体の「あふれる気力・体力」のバランスの取れた児童の育成に努め



▲増田小学校

ています。また、めざす子ども像を、「進んで学ぶ子」「やさしい子」「たくましい子」と掲げ、「進んで学ぶ子」では「自分の考えを持ち、目標に向かって学習する子」、「やさしい子」では「礼儀正しく、自己と友達の心や物を大切に

にする子」、「たくましい子」では「元気でねばり強く、運動に取り組み子」を目指しています。

星原小学校

児童数8名（3学級）

教育目標は『確かな学力を身に付け、心豊かでたくましく夢を持って生きる児童の育成』であり、「確かな学力の定着・向上と主体的学習態度の育成」「思いやりの心の育成と基本的生活習慣の確立」「体力づくりの推進と健康・安全教育の充実」「よさを生かし、伸ばす教



▲星原小学校

育と特色ある教育活動の推進」「職員の資質向上を図る取り組みの推進・充実」を重点課題に挙げています。

南界小学校

児童数32名（4学級）

教育目標は『感性に富み、心身ともにたくましく生きる個性豊かな児童の育成』であり、「やさしく」「かしこく」



▲南界小学校

「たくましく」を目指す児童像とし、「やさしく」では、将来の自分を肯定的に捉えるための自律、協調、思いやりの心を磨くこと、「かしこく」では、基礎・基本を身につけ、それを活用して自ら考え、判断し、表現する力を育てること、「たくましく」では、汗を流す喜びを感じ、最後までねばり強くということを大きな目標に掲げています。

岩岡小学校

児童数25名（3学級）

教育目標は『心豊かでたくましく、ひとみかがやく、岩岡の子を育てる』であり、「かしこく、なかよく、げんきよく」の校訓により、知の「進んで学び、よく考える子ども」、徳の「素直で明るく思いやりのある子ども」、体の「丈夫な体と気力でやり抜く子ども」を指す子どもの姿として掲げています。



▲岩岡小学校

質疑

増田小学校では、はじめの実態、保健室登校について。星原小学校では、留学生の受け入れ、単元テスト目標値達成の要因について。南界小学校では、古市家住宅を活用した集団学習、少人数・腹式指導研究公開について。岩岡小学校では、研修におけるゲストティーチャー、握力の低下などの質疑がなされた。

学校施設の整備補修

施設の整備補修については、各学校とも補修、改善を要する箇所が見受けられました。緊急性の高いものもあり児童・生徒の安全な

教育環境を守るためにも早急な対策を講じられるよう望みます。

まとめ

「生きる力」を育むという教育理念、確かな学力・豊かな心・身体バランスの取れた児童の育成が求められる中で、保護者や地域との連携を密にし、その特性を生かした地域の拠点としての役割を果たしています。

しかし、児童数はさらに減少することが予測され、学級減、職員定数減の可能性もあります。また、学校自体の存続を心配する声も聞かれます。

本町には、地域全体で子どもを守り育てるといふ伝統的な教育力があります。学校、家庭、地域が相互に連携・協力し、地域力を高めながら教育活動に取り組んでいく必要がある。という委員全員の一致した意見でした。

条例

■中種子町税賦課徴収 条例等の一部改正

地方税法の一部を改正する法律が平成28年11月28日に施行されたことによる改正です。主な改正内容は、町民税の申告にかかる仮認定特定非営利活動法人を特例認定特定非営利活動法人に名称変更するほか消費税率の10%への引き上げの施行日が平成31年10月1日に先送り変更されたこと等に伴い、先に改正した改正部分の条例について見直しを行うものです。

■中種子町乳幼児等医療費助成条例の一部改正

子育て支援として、現在中学生までの医療費の無料化を高校卒業相当年齢までに拡大するものです。

■中種子町奨学金貸付基金条例の一部を改正する条例

学校卒業後、本町に就職し、定住した者に

ついて、奨学金の返還猶予、奨学金の一部及び全部を免除する制度を新たに設け、若者の定住を促進するために条例を改正するものです。

■中種子町自然レクリエーション村設置及び管理に関する条例の一部改正

施設・備品等の使用料の見直しを行うものです。

〔改正後料金〕

種類	単位	使用料
テント(大)	一日一張り	一,五〇〇円
テント(中)	一日一張り	一,〇〇〇円
毛布・タオルケット	一枚	一〇〇円
炊事道具セット	一揃	三〇〇円
バーベキューセット	一揃	五〇〇円
屋外用机	一日一脚	二〇〇円
屋外用イス	一日一脚	五〇〇円
テント持ち込み使用	一日一張り	五〇〇円
シャワー室	一回	五〇〇円
テントログキャビン	一日一棟	二,〇〇〇円
研修室	一時間	五〇〇円
屋外ステージ	一時間	二〇〇円

この条例は平成29年4月1日から施行となります。

■中種子町個人情報保護条例の一部改正

番号法(行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律)の規定に基づく特定個人情報等の保護に係る措置として、情報提供等記録に番号法第26条で番号法第23条の規定が準用されることによる改正及び、新たに第26条

の追加により改正するものです。

■職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び、職員の育児休業等に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき、育児・介護を行う対象となる子の範囲を、職員が特別養子縁組、里親である職員に委託され、かつ養子縁組によって養親となることを希望している子まで拡大し、介護休暇について、現在の1回を3回まで分割可能とし、介護時間を1日2時間までとするものです。

■町長等の給与の特例に関する条例

三役の給料を、本年度も昨年に引き続き、財政健全化のため、町長の給料を10%、副町長及び教育長の給料を5%カットするものです。

その他議案

●中種子辺地に係る総合整備計画の変更について

変更内容は、教職員住宅建替事業における辺地対策事業債が、計画の範囲を超えるため、事業費を修正するものです。

一部事務組合

◆熊毛地区消防組合議会定例会

●29年第1回定例会(3月29日)
平成29年度当初予算は、総額9億4039万円。前年度比1743万の増額です。

◆種子島地区広域事務組合議会

●29年第1回定例会(3月29日)
平成29年度当初予算

は、総額6億9677万円。前年度比882万円の減額です。

◆中南衛生管理組合議会

●29年第1回定例会(2月13日)
平成29年度当初予算は、総額1億6147万円。前年度比2200万円の減額です。

◆公立種子島病院組合議会

●29年第1回定例会(2月13日)
平成29年度当初予算は、収益的収入及び支出の収入は8億5773万円、支出は8億9169万円。資本的収入及び支出の収入は1億4590万円、支出は1億4600万円です。

議会傍聴においでください。

平成29年6月議会は14日に招集される予定です。

町民の皆様に、町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、町議会では、できるだけ多くの方が傍聴されることを望んでいます。

町議会の本会議は、いつでも、だれでも傍聴できます。議会事務局で傍聴券を交付します。議長や係員の指示に従い、静かに傍聴しましょう。
開会日前には、防災無線でお知らせします。



車いすでの傍聴が可能となります。

議場内の段差解消工事を実施し、車いすでの傍聴が可能となっています。

議会の動き

3月

1日 種子島中央高校卒業式

7日 第1回定例会（24日まで）委員会（9日）

8日 戦没者春の追悼式

10日 ロケットマラソン大会

12日 議会運営委員会

13日 中学校卒業式

14日 中種子養護学校卒業式

17日 小学校卒業式

23日 消防・広域事務・産婦人科

29日 医院組合議会定例会

4月

5日 たねがしま留学生歓迎式

6日 小・中学校入学式

7日 種子島中央高校入学式

7日 中種子養護学校入学式

7日 転入教職員宣誓式

10日 新旧行政連絡員会

16日 鹿児島中種子会総会

25日 県政説明会

26日 スポーツ合宿等誘致推進協議会総会

27日 公立種子島病院組合議会臨時会

5月

1日 第3回臨時会

1日 県離島振興議長会行政視察（4日）

2日 自衛隊父兄会総会

9日 郡議会議長会総会

9日 県離島振興議長会臨時総会

10日 議員研修会

17日 屋久島空港整備促進協議会総会

17日 種子屋久観光連絡協議会総会

17日 種子島屋久島振興協議会

19日 種子島地区防犯協会総会

28日 近畿中種子会総会

お知らせ

議会の映像中継について
中種子町議会では、議会の活性化を図るため、本会議中は、庁舎1階ロビーに設置しているモニターテレビで本会議の様子を放映しています。
議場に入れない場合や役場へお越しの際は、是非ご覧ください。
(開会中に限り)

編集後記

桜の花も終わりツツジが咲き出し、春本番、身も心も軽くなるさわやかな季節になりました。

小・中学校では入学式が行われ、新一年生の入学で活気と希望に満ちた学校生活が始まりました。子どもたちの健全な成長を祈りたい。私たちが過ぎ去る2年の半分が過ぎ去る。これまでの議会活動を振り返り、町政発展に議員としてどうあるべきか再認識し、議会としての役割を果たし、町民に信頼される議会になるよう務めて参ります。さて現委員による議会だよりは最後となりました。次号からは新しい委員での発行となります。何かご意見等ありましたらご一報ください。今後ともよろしくお願いたします。

蓮子信二

- 広報編集委員会
- 委員長 日高和典
 - 副委員長 蓮子信二
 - 委員 戸田和代
 - 委員 池山朝生
 - 委員 永濱一則
 - 委員 山元みづ子

